

R4年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金
R3年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。 (市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会、観月の夕べ)				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 中止(補助金交付なし) (R3年度) 新型コロナウイルス感染拡大予防措置を取っての事業実施を団体に指導。 (R4年度) 新型コロナウイルス感染拡大予防措置を取っての事業実施を団体に指導。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	若年層を含む団体数、会員数増のために事業内容に関する指導・助言	
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
構成団体の数		団体	目標値	35	-	31	30	30
			実績値	31	-	30		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
構成団体の構成員数		人	目標値	350	-	310	300	270
			実績値	310	-	266		
計算 根拠	文化協議会からの聞き取り	達成率	88.6	-	85.8			
		実数値						
		ランク		B	-	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍のため活動ができなかったことや高齢化のため個人会員数が減少した。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,150	2,150	0	1,935	1,935		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,150	2,150	0	925			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,585	1,935	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,935

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	16

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
8	0点~8点	事務改善または廃止・休止	事務改善または廃止・休止
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 R4年度は、主な事業として「芸能祭」、「文協総合展・合同茶会」を実施、また、「親月の夕べ」は事業内容を組み替え実施する予定。従って、補助金を交付予定。

来年度の実績 R3年度は補助金は交付したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を一部実施できなかった。(未執行分は戻入)

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部事業が実施できなかった。R4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響のため予定していた事業開催ができない可能性があり、活動が抑制されることから加入者、加入団体が減る可能性がある。また、会員の高齢化に伴い、会員数、団体数ともに加入数が減少の傾向にある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 コロナ対策を考慮した事業企画の立案を指導、HPなどで市民全般に団体の活動を周知する他、若い年齢層も興味を持ち加入しやすいようにするなど団体の事業の在り方や事業内容について協議、指導し、文化団体の育成を図る。また、事業補助に移行する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業
R3年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	2022
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大級の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収の実施、整備計画の策定、各種設計書等の作成、関連工事の実施をととして古墳公園化を目指す。				
	コロナ対応 の取組	工事監理業務については、メールや電話等を多用し、接触回数を可能な限り減らす。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	国庫・県費補助事業として市が整備計画事業を推進し、古墳公園化を目指す。	

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業進捗率	%	目標値	20	30	75	100	-
		実績値	20	30	75		
計算 根拠	公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計・一部工事着工、令和2年度から令和4年度に施工し完成予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難な	達成率	100	100	100		
		実数値	20/100	30/100	75/100		
		ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	7,200	18,810	61,552	238,921	57,000		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	6,822	18,810	39,888	223,473			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	501	文化財保存整備事業費(補助)	57,000	57,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	57,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国庫補助)	22,888
2	国指定文化財等保存修理補助金(県費補助)	5,000
3		
4		
5以降		
合計		27,888

事業要員	正規職員	0.33
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	令和4年度は第4期整備工事を実施する。 委託内容:工事監理業務委託 工事内容:敷地造成工、雨水排水設備工、園路広場整備工、サービス施設整備工、管理施設工ほか 整備検討委員会を開催して進捗状況の確認等を行うほか、事業完了が見込める場合は事業完了報告書を刊行予定
来年度の実績	R3年度は、第3期整備工事(敷地造成工、設備工、植栽工、園路広場整備工ほか)および工事監理委託等を実施。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度については国・県へ要望通りの事業額補助が採択されたことにより大幅に事業が進捗したものの、R4年度については国庫補助事業額が市の要望額に満たなかったため、現時点で本年度内の事業終了目途は立っていない。なお、年度途中で補助金の増額要望を行い、年度内での事業完了へ向けた取り組みを行う。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	R4年度中に事業完了までの予算を確保した結果、年度末までに事業完了予定。については、事業を終了する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="終了"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	なし 市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金
R3年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) コロナ禍で他所へ出ていく活動が無くなり、公民館での講座等に切り替えたことにより、規模を大幅に縮小して活動。よって、令和2年度は補助金を交付せず。 (R3年度) コロナ禍が収束するという見通しに基づき例年通りの事業内容としていたが、引き続き厳しい社会情勢により会の活動が縮小していることから、補助金については不交付あるいは減額して交付することを検討。 (R4年度) 厳しい状況が続いているものの、コロナ禍でも実施可能な自主事業を模索するなど活動を継続していることから、補助金については交付予定。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言	
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
普及活動回数		回	目標値	40	-	30	25	25
			実績値	49	-	29		
計算 根拠			達成率	122.5	-	96.7		
			実数値					
			ランク	A	-	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	300	300	0	270	300		事業タイ	単独事業
	決算額	300	300	0	270			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,585	300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	300

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	コロナウィルスの影響により、令和4年度も会の活動が制限される可能性が高いものの、令和3年度から自主活動を増やすなどして可能な限り継承活動に取り組むという姿勢を継続していることから補助金を交付する。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 会の活動は回復傾向にあるが、対外的な参加活動についてはコロナ以降厳しい状況が依然として続いている。この状況が長引けば参加会員数が減少に転じ、会の活動や運営ひいては民俗文化財の継承活動が滞る可能性がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 コロナ禍により例年並みの事業実施は不透明な状況であるが、練習活動環境を維持することを基本にしつつ、地域の行事やイベントでの踊りの実施を働きかけるなど継承活動を積極的に行うよう協議・指導し、前年度並みの補助金(予算)を確保し支援を継続する。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名		市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	まなべDEわくわくⅡアートフェスタ
R3年度 事業名	まなべDEわくわくⅡアートフェスタ

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をととして、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に、子供たちが芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館 まなべの館として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	コロナ対応の取組	(R2年度) 中止。 (R3年度) 感染予防対策を踏まえ、1日で行っていた事業を日にちを分散して開催。 (R4年度) 感染予防対策を踏まえ、日にちを分散して開催。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	体験教室の回数		日	目標値	1	-	3	2	2
				実績値		-	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	参加人数		人	目標値	370	-	360	360	360
				実績値	400	-	495		
	計算 根拠			達成率	108.1	-	137.5		
				実数値					
		ランク	A	-	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	650	650	0	714	751		事業タイプ	単独事業
	決算額	545	549	0	548			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)		
							事業	経費	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	15,380	751		
2									
3									
4									
5以降									
							合計	751	

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	参加者負担金 (@500円×200人)	100
2		
3		
4		
5以降		
合計		100

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	15
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	R4年度は新型コロナウイルス感染予防対策を充分に考慮し2日にわけて少人数制で実施する。
来年度の実績	R3年度は新型コロナウイルス感染予防対策を取り、3日にわけて分散実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は新型コロナウイルス感染予防対策を取り3日に分けて実施。引き続き、講師、サポーターの確保の他、コロナ感染予防対策のため人数を制限、換気、消毒など万全の感染予防対策を講じなければならない。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	R4年度はR3年度と同様従来1日で行っていた事業を日にちを分散させて行う体制で行う。R5年度も引き続き時間割数やカリキュラムの内容構成など細かい点に目を配り参加者の満足度をアップさせる。また、申請方法もWEB申請にし事務の効率化を図る。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
R3年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	建造物をはじめとする文化財を舞台・素材としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財(建造物等の有形文化財等)の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財所有者の了承のもと文化財等を公開し市民が直接目に触れる機会を提供する(提案型市民主役事業として隔年実施)。				
	コロナ対応の取組	(令和2年度)屋外イベントであったため感染拡大防止の観点から中止 (令和3年度)隔年開催としたため実施せず (令和4年度)コロナ対策を講じて実施するが、コロナ禍により集客が困難と判断される場合はWEB配信など他の方法を検討し、やむを得ない場合は中止とする。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	提案型市民主役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。	
現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
文化財建造物等を舞台としたコンサート等の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	-	-		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
観客者(参加者)数		人	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	193	-	-		
計算 根拠			達成率	96.5				
			実績値					
			ランク	A	-	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,080	1,080	0	0	1,100		事業タイ	単独事業
	決算額	1,080	1,080	0	0			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務諸経費	8,215	1,100	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,100

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	コンサート参加者負担金(チケット収入)	40
2		
3		
4		
5以降		
合計		40

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	11
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 令和4年度は、市民主役事業として、コロナ対策等を講じ立待地区にて実施予定。
来年度の実績	令和3年度は、事業を実施しなかった(隔年開催)。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	過年度事業の参加者数や市民主役事業への応募件数などから判断してニーズは十分にあるが、コンサートという多人数参加型のイベントであるため、コロナ禍の社会情勢での開催は容易ではない。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	R5については、コロナ禍に加え、台風による延期の影響で非常に寒い時期での屋外開催となり、思うように集客を図ることが出来なかった。今後については、コロナ禍での事業実施の難しさ、さらには事業開始から16年が経過し文化財の周知が一定程度図られたことなどを考慮し事業廃止とする。 ※「近松が生まれ育ったまちさばえ」発信事業と隔年開催
R5方向性⇒ <input type="text" value="廃止"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 コロナ禍での事業実施の難しさに加え、事業開始から16年が経過し文化財の周知が一定程度図られたことなどを考慮し、事業を廃止する。

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	可能	不可能
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,100
R5年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ふるさと鯖江検定事業
R3年度 事業名	ふるさと鯖江検定事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	2023
	目的	鯖江の歴史・地理・文化・産業・経済などをはじめ、鯖江の今にスポットを当て市の取組やイチャオシの情報に関する検定を実施し、ふるさと鯖江への理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や市の取り組みなど幅広いテーマで出題する検定をWEBで実施する。(令和元年度より)。また、子どもむけのキッズ検定では、子どもの頃からふるさとに愛着をもつように学校と連携し、出前講座を活用実施する。(平成27年度より)。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) キッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策をとり実施。 (R3年度) 出前講座等を介して行うキッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策を充分にとり実施。 (R4年度) 出前講座等を介して行うキッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策を充分にとり実施。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市職員が問題を作成する。	
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
検定の実施		回	目標値	2	1	1	1	-
			実績値	2	1	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
受験者数(申込者数)		人	目標値	150	75	75	400	-
			実績値	359	592	523		
計算 根拠			達成率	239.3	789.3	697		
			実数値					
		ランク		A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	209	89	8	50	40		事業タイプ	単独事業
	決算額	43	39	8	39			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
							事業費	補助金等
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	15,380	40	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	8
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	事務改善または廃止・休止

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input checked="" type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒	事務改善
取組内容	R3年度と同様な形態で実施。
来年度の実績	R3年度もWEB受検制とし、106名の受検があり、キッズ検定では、418人の受検があった。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度同様R4年度もWEB受検体制に移行し、気軽に受検できるようになったが、事業の周知度が弱いのが課題となっている。また、キッズ検定では学校の協力体制が不可欠となっている。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	H20年度から実施していたが、検定事業としては終了し、さらにふるさと鯖江に愛着と理解を深めるために参加型事業に組み込むことを検討する。
R5方向性⇒	終了
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	鯖江市美術展開催事業			
R3年度 事業名	鯖江市美術展開催事業			
総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきいと過ごすまち	文化活動の推進

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、齋陽会館の2会場。会期は5日間。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。（※コロナ対策でオンデマンド開催の場合もある。）また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気がるにあーと展」も同時開催する。その他、芸術文化に携わる人材を育成するためワークショップを実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。 (R3年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。 (R4年度) 新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	市と市民が主体となった実行委員会が協働して実施する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	作品の応募点数		点	目標値	450	225	225	225	225
				実績値	-	375	373		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	会場への来場者数		人	目標値	8,000	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績値	-	6,205	5,460		
	計算 根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。		達成率	-	156.2	136.5		
				実数値					
		ランク	-	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,263	2,405	2,905	2,891	2,900		事業タイ	単独事業
	決算額	1,949	691	2,541	2,607			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	15,380	2,900	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,900

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	出品料(@1,300円×250人)	325
2		
3		
4		
5以降		
合計		325

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10	効果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない
点数区分	0点~8点		
	9点~16点		
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止		
判定	維持または事務改善		

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	R3年度と同様の形態で、オンラインの活用など新型コロナウイルス感染予防対策を取り実施する。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 個人の芸術文化活動が制限される中、市民が安心して自己の創作活動を発表することができる場を失わないようにすること、そのために感染予防対策を徹底し実施することが重要課題である。また、美術展への参加者を増やすため、作品制作を学ぶ場の創設も必要不可欠であり、市民が気軽に学べる場を提供していく必要がある。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 関連イベントのオンライン化、作品の搬入・搬出を時間制にし、作業人数を制限するなど感染予防体制を整えて開催するとともに、市民の芸術文化活動を支援するために、人材育成や技術向上を目的とした芸術講座等(オンラインを含む)を引き続き企画していく。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業			
R3年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業			
総合戦略 体系	325	若くて元気なまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けて「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	「近松が生まれたまちさばえ」を市民目線で広く情報発信するため下記の事業を委託実施する。 ・鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演。 ・「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」(令和3年度より提案型市民主役事業として隔年実施)発信事業として市民主役事業として隔年で委託する。 ・近松入門講座(令和3年度より提案型市民主役事業として実施)				
	コロナ対応の取組	(R2年度)中止 (R3年度)新型コロナウイルス感染予防対策を充分に取り実施。 (R4年度)新型コロナウイルス感染予防対策を充分に取り実施。				
	法令等根拠 現在	民間等委託(一部)	実施形態	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」とし市民主役事業として隔年開催、「近松入門講座」はさばえ近松倶楽部に委託して開催する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	近松座による出前公演の回数		回	目標値	15	-	7	5	5
				実績値	11	-	6		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数、近松入門講座の参加者数		人	目標値	10,500	-			
				実績値	10,000	-			
	計算根拠 「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度:近松入門講座の参加者数を追加			達成率	95.2	-			
				実数値		-			
	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業の参加者数		人	目標値		-	550	300	300
				実績値		-	811		
	計算根拠 「近松が生まれ育ったまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度:近松入門講座の参加者数を追加 ※発信事業の内訳は近松講座、文楽公演委託事業、近松が生まれ育ったまちさばえ発信事			達成率		-	147.5		
				実数値		-			
				ランク	A	-	A		
前年度ランク B、Cの理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,882	2,000	0	2,348	1,870		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,769	1,803	0	2,005			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	15,380	1,870	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,870

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	出張講座 @7,000×39人	273
2	基礎講座 @2,500×20人	50
3		
4		
5以降		
合計		323

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計 点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒	内容縮小
取組 内容	R4年度は、「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として文楽公演委託事業のほか、近松が生まれ育ったまちさばえの全国発信を強化するため、「近松はじめて講座」や「とくべつ出張！ちかもんくん」など新事業を展開する。
来年度へ 向けて	R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて文楽公演委託事業は一部縮小とし、近松のまちづくり推進活動事業開催業務委託は当初の予定をずらして年度末に開催した。また、近松入門講座事業は中止とした。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業の開催が難しく、「近松が生まれ育ったまちさばえ」の発信が弱体化する可能性がある。また、事業効果を高めるため、近松関連の団体が連携して事業を集約する必要がある。さらに、近松生誕370年となる令和5年(2023)に向けて、市および県内外にとどまらず、情報発信を行う。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	R3年度より立地地区に限らず広く市民が参加できる事業として、近松が生まれ育ったまち発信事業を市民提案型に変更し隔年開催(3月)とした。R4年度同様、R5年度は、近松門左衛門生誕370年記念の年で特別事業を実施計画する他、文楽公演委託事業の委託内容においても次世代の人材育成強化を示し、近松座などの関係団体と連携した事業を行い近松が生まれ育ったまちさばえの周知強化を図る。 ※市民役事業は隔年開催
R5方向性⇒	事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	不可能	可能
実施状況	未実施	未実施	実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業(予定)	
	市民役事業にかかる額(単位千円):	1,000

R4年度 事業名	文化財調査事業
R3年度 事業名	文化財調査事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	文化財を保存保護し郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査等を実施するほか、まなへの館で未整理となっている古文書等の調査を実施する。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施する(埋蔵文化財対応を除く)。事業の一部については、高度な専門的知識と技術をもつ明治大学および京都女子大学の専門家に委託する。(明治大学への委託費についてののみ文化財管理事務諸経費)				
	コロナ対応 の取組	(令和2年度)外部調査委託は実施出来ず (令和3年度)外部委託の実施は厳しい状況 (令和4年度)コロナ禍が終息することを前提に予算を確保するが、前年度と同じ情勢が続けば事業の縮小あるいは中止を検討				
法令等 根拠		実施 形態	内容	市職員(学芸員)および専門機関(大学)に一部を委託して直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	古文書の搬入点数		点	目標値	300	-	300	300	300
				実績値	400	-	500		
	悉皆調査等の回数		回	目標値	5	1	3	3	3
				実績値	9	1	5		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	古文書の調査作成点数		点	目標値	300	-	300	300	300
				実績値	400	-	500		
	計算 根拠			達成率	133	-	166.7		
				実数値					
	調査した文化財の数		件(点)	目標値	5	1	3	3	3
				実績値	9	1	5		
	計算 根拠			達成率	180	100	166.7		
実数値									
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	60	860	174	1,121	973		事業タイプ	単独事業
	決算額	60	841	20	469			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務経費	8,215	350	
2	10	5	7	203	文化財調査事業費	1,522	623	
3								
4								
5以降								
							合計	973

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0.87
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	コロナウィルスの影響が落ち着くことを前提として例年通り実施予定。なお、大学等への調査事業委託の実施については、大学側および市側の対応状況を勘案して可否を判断。なお、事務局対応可能な調査事業については実施する予定。
来年度へ向けて	R3年度の実績 コロナウィルスの影響により、明治大学への調査委託は断念したが京都女子大学への委託を実施した。このほか、文化財調査委員会委員による調査および事務局対応可能な一部事業について実施。(文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は指摘されており、それを反映して実施。このうち特に保存保護の必要なものについては指定等への道筋をつける)
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 調査委託先が県外の研究機関(大学)であるため、コロナ禍による移動制限下では調査が困難。 コロナ禍を理由として文化財所有者から調査延期の要請事例があり、調査環境が厳しい。 県外研究機関による調査が出来ない場合、県内在住の専門家および事務局による限定的な調査にならざるを得ない。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 継続調査物件のためコロナ禍が収束することを前提に予算を確保。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	なし
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	まなべの館企画展開催事業
R3年度 事業名	まなべの館企画展開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等の更なる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)当初、企画展2本を予定していたが、会期を変更して1本のみ開催。 (R3年度)新型コロナウイルス感染予防対策を取り企画展2本開催。 (R4年度)新型コロナウイルス感染予防対策を取り企画展2本開催。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成を行なう。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
企画展の開催		回	目標値	3	1	2	2	2
			実績値	3	1	2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
入館者数		人	目標値	5,000	1,000	2,500	2,500	2,500
			実績値	8486	1,863	4,752		
計算 根拠			達成率	169.7	186.3	190.1		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,000	5,000	4,500	5,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	5,000	5,000	0	3,400			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	5	8	203	文化事業運営費	5,000	5,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	5,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	観覧料(@200円×2,500人)	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>維持</b>
取組内容	コロナ禍においても市民に文化芸術に触れる機会を提供することにより、豊かで活力のある文化的生活を享受するため、企画展を開催する。親子の絆を深め、心を豊かにする鯖江ゆかりの作家H@L氏とフランスの作品「ベネロベ」を紹介する「絵本を楽しむ・絵本原画展」と平和学習に寄与し、近代の神明・立待地区発展の基礎となった第36連隊の軌跡を紹介する「陸軍歩兵36連隊とさばえ・未来への軌跡」を開催する。
来年度へ向けて	R3年度は丹南地区の伝統工芸である漆、眼鏡、陶器を紹介した「花×うつわ×暮らしーテーブルをデザインする」と鯖浦線をはじめ、福井鉄道や新幹線まで鯖江を走った鉄道の歴史を紹介する「鯖江を駆け抜けた鉄道展」の2本を開催し4,752人の入館者があった。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、展示資料が県外に及び企画展は開催できなかった。また、2本予定していたが、1本は県独自の緊急事態宣言を受けて会期中で中止となった。市民が安心して芸術文化を鑑賞できる体制や環境を整えることが最重要課題である。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 市民が安心して芸術文化を鑑賞できるように、感染予防対策を徹底する。また、展示内容のWEB配信などオンラインコンテンツを充実させ、鑑賞者増を図る。また、観覧料についても200円以上と増額し、財源確保を図る。
	R5方向性⇒ <b>事務改善(手段・サービス水準の見直し)</b>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存修理事業
R3年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存整備事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2020	終了年度	2027
	目的	県内最古級の民家である重要文化財「旧瓜生家住宅」について、保存整備事業を実施し保存保護を図る。				
	概要	旧瓜生家住宅について、適切な状態で保存するための保存修理等を行う。地盤調査、耐震診断等を実施し、実施設計に反映。修理工事、茅葺屋根の葺替工事、監理業務委託ほかを実施するほか必要に応じて耐震対策工事も実施。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	国庫・県費補助事業として、市が修理事業を推進する。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業進捗率		%	目標値		5	0	10	15
			実績値		5	-		
計算 根拠			達成率		100	-		
			実数値					
			ランク		A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			2,300	0	0		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			1,287	0			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							0
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ 休止
取組内容	休止 旧瓜生家住宅の基礎部が沈下している可能性を指摘され、経過観察を要するため、国において事業採択の見通しが立てば事業化を行う。
来年度へ向けて	R3年度の実績 建材の歪みや建物の沈下の有無について経過観察を継続。8月に国・県・文化財建造物専門機関担当者と現地確認と協議を行い、R5から地盤調査等の実施(国庫補助)にむけて認識を共有。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R5からの国庫補助事業採択を前提に、地盤調査等を複数年かけて実施し屋根葺き替えを含む修理方針を決定する計画のため、現時点で全体事業費および事業期間が不明。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 R4に国・県および文化財建造物保存協会と国庫補助事業採択にむけた協議を行い、R5は文化財の適切な保存と管理を実現するため保存修理事業に採択される見込み(予算化)となり、耐震診断等の調査業務や実施設計に一部着手する予定。 R5方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し) CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	なし 市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒